

○小規模多機能型居宅介護のユーザーからの主なご意見・ご感想

・いつ訪問しても歓迎してくださり、利用者の方々への温かい対応に感心します。職員の方同士も連携ができていて居心地が良いです。引き続きよろしくお願い致します。

・利用料を経費の節約等により、勤労者が支払える額に下げられないか。人件費を下げられないのは分かりますが、年金預金（本人の蓄え）がないと私の給料からは毎月払えない額である。

・介護される側は、皆さんそれぞれのご理由、体力、気力もあります。色々なタイプの介護施設を見学し、家族も色々勉強、学習しました。出来る範囲で自分の足で歩けるうちは足が弱らないような習慣があればと思います。おかげ様で明るく家庭的な生活に、本人も満足して生活して居ります。

・現在利用しているサービス内容について、不満や苦情は殆んどケアマネジャーさんにお話します。ケアマネジャーさんと話し合い相談ができるので、母を預ける事ができます。1人では介護はできないので、母のため連携を取っていく事が大切と思っています。母が1人で住む事が限界かなと寂しく思います。うまくいかないなとも思います。母がこれからもデイサービスへ何とか行きたくないと言っても行って欲しかったらと思います。

・新しいスタッフの方でも同じサービスが提供出来るように、利用者の情報を共有して欲しい。

・スタッフの方々に良くしてもらって、母も嫌がらずに施設に行ってくれますので感謝しています。今後もスタッフの方の入れ替えがあまりない事を望みます。母の様子をきめ細かく見て下さり、声をかけてくださるスタッフの方がいて下さるので安心しております。

・たまに、朝食に固いパンやスープの中の野菜が十分煮えてないものが出るので、飲み込むのが大変と言っていたので、もう少し食事に気を使ってもらえるとありがたい。

・担当して頂いた職員によって、今日は良かったと思える日もあれば、今日は・・・みたいな日もあります。定期的に職員について「どうですか？」みたいに聞いてもらえると良いと思います。こちらからあの職員は出来れば外して欲しいという様な事は言い難いからです。

・昼間は誰でも入って行けるので、セキュリティーに不安を感じます。利用者も職員さんにも安全に過ごせるように、お昼間の施錠をして頂きたいです。

・両親は父は91才、母は88才と高齢で手がかかるのにもかかわらず、愛情をそいで下さり、いつも職員さんお1人お1人に感謝しています。この夏は私と両親にとって、とてもつらい夏でした。父が飲み込む事が出来ず、入院し胃ろうか点滴かどちらかを選ばなくてはならず、事業所に相談に伺った時も心温まる言葉をかけて頂き、本人が希望する様、全面的に応援の体制を考えて下さいました。その時「もし、胃ろうになったら

もう通うのは無理ですね」と言いますと「今までの様な回数は無理でも看護師さんやスタッフと万全の体制を考えましょう」とまで言って下さり「これからもっと高齢社会になるはずで、健康な人ばかりとは限らなくなるはずで」とまで。もう、ありがたくて泣けました。退院し、自宅で療養2週間で旅立ってしまいました。デイサービスでの写真を頂きました。どれも楽しそうで子供の様です。イベントごとも多く、家には味わう事の出来ない事をして下さり、秋にはサンマを味わう、夏にはスイカ割りどれも家では出来ない事ばかり、みなさんが優しく、温かく接して下さった事は、写真に表れています。もっと長く通いたかったです。これが本人や家族が残念に思うたった1つの事です。「楽しい時間をありがとう」と父も言っていると思います。所長さん、職員の皆様素晴らしい方々ばかり。本当にありがとうございます。

・ホームでの入居所の家族向けの話し合いの場や、意見交換、相談会等の場が過去1回あっただけでしたので、年1回は必要ではないかと思えます。